



信州の未来を創造する測量設計

目次

● 会長 年頭のあいさつ	1p
● 令和6年度協会活動	2p
● 協会・委員会活動	16p
● 会員名簿	20p
● 編集後記	裏表紙

会長 年頭のあいさつ



一般社団法人
長野県測量設計業協会
代表理事 吉竹 行仁

皆様、あけましておめでとうございます。本年も健やかに新しい年を迎えることができましたこと、心からお慶び申し上げます。これも、行政をはじめとするあらゆる関係機関の皆様、そして何より、我々の技術成果のご愛用者（エンドユーザー）である地域住民の皆様ののおかげだと深く感謝しております。

さて、「能登半島地震災害」発生から1年が経過しました。9月には半島を襲った記録的な豪雨で再被災するなど、復旧の進捗は途上にあります。元の生活を取り戻すためには、我々測量設計業をはじめとする建設産業の力が必要であり、非常に大事な1年となります。我々はこの環境や難局に怯むことなく、積極的に挑戦してまいります。

県内の社会資本（インフラ）の整備、災害復旧等の取組みについては、もとより使命感をもって努め励み勤しんでまいります。様々な人たちと「同志」になり、心をあわせて「国や地域の未来を創り上げていく年」になると言えるのではないかと感じております。

皆様ご承知のとおり、測量設計業を含むすべての産業において担い手不足は深刻な問題となっております。国においては2040年までに省人化を3割進め、生産性を1.5倍に向上することを目指しi-Construction2.0がスタートしました。これによって、測量設計業の概念そのものが変わるとともに人々の暮らしを支えるあらゆるモノ、サービスがデジタル情報でつながっていく時代に入っております。つまり、私たちのビジネスを考える上でも、建設産業単体ではなく、まちづくり全体、社会全体という大きな視野でインフラDXを考えるという発想が必要となってくると思います。

協会の運営に目を向けますと、環境の変化が益々早くなっている中で、当協会がこれから未来に向けた活動が厳しさを増すことは、誰しも想像できるところだと思います。我々の技術力、それに伴う競争力を復活させ、測協の存在感・認知度・影響力を取り戻すことができるか、ここ数年が正念場だと認識しております。

そのためにも、全協会員一体となって競争力復活に引き続き取り組んでいきたいと思っております。一方で、国の政策や地域の動き・変化、災害対応の推進、更にはDXが我々の事業にもたらす影響や変化等を不断に、そして俯瞰的に捉え、柔軟性とスピード感をもって協会の方向性を判断していくことが会長の責務であるとの認識を強くしております。

これからの時代は、測量・調査・設計・施工・維持管理のボーダレス化、業界の壁を越えた、いわば「何でもあり」の事業環境になってきております。こういった環境変化に対応するため、モノの見方、考え方を変えなければ協会の方向性、やり方は変わっていきません。それぞれ自分にも見えていない現実があります。そのことを受け入れる柔軟さ、そして、見えていない現実を見ようとする情熱が大事だと思います。私は、そんな協会の姿を求めていきたいと思っております。

まずは「長測協の強み」とは何かを考えながら運営を進めたいと思っております。そのためにも攻めの姿勢を貫いて推進してまいります。いままでやらずして終わっていたことも、やってみた時に初めて見えてくるものがあるのではないのでしょうか。それは、長測協という存在と向き合うことでもあります。徹底的に議論を重ね、勇気をもって新たな事業に挑戦することで、今まで気づかなかった「ありたい姿」と「やるべき事」が見えてくると思います。そしてそれが成長の柱となり、「長測協の未来」を支えていくことにつながっていくと確信しております。

本年の干支は「乙巳（きのと・み）」です。これには「再生と変化。努力を重ね、物事を安定させていく」と言われております。まさに長測協の力を復活させ邁進するにふさわしい年と思います。本年も皆様と共に、健康で充実した1年を過ごせることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

北信支部活動

北信支部長 伴野 節男

建設技術実践プロジェクト事業に伴う長野工業高等学校技術支援 ▶ 技術委員 松林 直人

【実施日】 令和6年6月10日（月）～10月8日（火）

【場 所】（一）裾花川右岸河川敷、長工パソコン室

北信支部では、本年度も長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う技術支援として、長野工業高等学校土木学科3学年課題研究の授業における測量分野の技術指導を行いました。本年度も昨年度に引き続き、一級河川裾花川右岸長安橋上流200m区間の河川敷ウォーキングロード計画を目的とした路線測量を課題として6月10日から10月8日までの期間、全10回実施しました。

課題研究は、見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、産業発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する科目であり、本プロジェクトでは、

- ① 体系的・系統的に理解を深める
- ② 今まで学んできた「測量学」の集大成を通して、次への「設計」、「施工」へつなげる情報等を図面化する
- ③ グループごとに課題解決するための討議を通して効率化を模索し、作業を進めるよう支援し、社会貢献に主体的、協働的に取り組む意識と技術の習得を深めることができるようになることを目的に支援を行いました。

初回の授業では、「業務としての測量」をテーマに測量法と測量士補試験出題問題を基に説明し、その後、グループごとに分かれて次回からの実習に向けた討議を行いました。その内容を基にトータルステーションとレベルを用いて基準点・水準測量を行い、計算整理をしました。



昨年度までの成果と今回得られた成果に基づき、路線測量（中心線、縦断、横断測量）を実施し、各班に当支部副支部長、技術委員を配置し、観測時の重要なポイント、アドバイスをを行い、実際の測量現場での実践的かつ

系統的な測量作業を体験してもらいました。

現地で観測したデータを測量CADソフト（TREND ONE）へ取り込み、図化する流れを見て、さらにはそれらのデータを土木施工業向けCADソフト（武蔵）で成果図面としての体裁を指導し、設計業務の基礎資料となる測量成果図面の作成を行い、CAD製図基準や電子納品要領にも触れながら、より実践的な内容になるよう留意して実習を行いました。

成果物が完成したところで、公共事業の流れと測量が関わる部分、発注に際しての設計図書等について2

級土木施工管理技士出題問題に触れながら説明を行い、i-construction（ICT土工）、BIM/CIM、建設DX等の先進事例に触れながら、測量技術の変化と重要性を理解してもらい、さらには、今回の実習で行った測量作業の積算、模擬入札を実施し、体験的な学習活動を行いました。

技術者を目指している生徒たちに心構えや自己研鑽（資格取得等）について触れ、若手技術者に求めるものや期待することを総括しました。

長野工業高等学校 土木工学科2年生 測量講習会 ▶ 技術委員 浦野 泉

【実施日】 令和6年10月31日（木）

【場 所】 長野工業高等学校

【参加人数】 2年生39名

長野工業高等学校土木工学科2年生の「総合的な探求の時間」における就労支援授業の一環として、測量・設計業に関する説明を行いました。

午前中は、当協会の紹介並びに測量・設計業の魅力について紹介した後、当協会会員各社より派遣いただいた若手技術者と学生との座談会を行いました。



操縦体験の後には、実際に得られたデータの活用方法や、ICT施工・BIM/CIMといった現在の建設業界で推進されている環境における測量設計業界の役割について説明を行いました。

座談会では、学生と年齢の近い技術者に多く参加していただいたおかげで、話をしやすい雰囲気できたためか、一日の過ごし方や実際の給与の話など、踏み込んだ質問も出ていました。

午後は、6社のご協力によりUAVと講師を派遣していただきました。6班に分かれることにより、学生一人一人に十分な時間をとることができたため、全員に操縦体験をしてもらいました。学校にもUAVはあるものの、実際に操縦する機会はないようで、学生には非常に好評でした。



学生の感想では、「当業界へ興味を持った」という反応が多数ありましたので、近い将来我々と一緒に活躍してくれることを切に願います。



中野立志館高等学校実習 ▶ 副支部長 伊藤 裕

【授業タイトル】 三次元点群測量講習会

【実施日】 令和6年9月11日 (水)

【授 業】 12時40分～15時30分

3D点群作成授業 中野立志館高等学校教室
16名

あいさつ 長野県北信建設事務所

課長補佐兼整備第三係長 尾形 栄一

自己紹介 株式会社伊藤測量設計

測量士 中島 伸哉

測量士補 大日方 唯之

測量士補 両角 颯人

【授業内容】

3次元データ処理

まず初めに3次元処理ソフトについて概要を説明し、そのあと同ソフトを使用した実習と解説、活用事例について紹介しました。



- ・ 測量の進歩と機器の進化
- ・ 三次元点群測量とは
- ・ 三次元点群測量での作業計画
- ・ 様々な三次元点群測量の手法
- ・ 三次元点群測量ワークフロー (内業)
- ・ 作成する各データの解説
- ・ 三次元点群データの活用例

フィルタリング実技実習

フィルタリングについては、そのポイントつかむことが重要であるため、1班6人による3班でパソコンによりフィルタリングソフトを使用して実習を行いました。

実際の中野立志館高校の中庭のデータを使用して行ったことから分かりやすく、最新技術の面白さや便利さを体験してもらえたと思います。



東信支部活動

東信支部長 山本 元栄

持続可能な測量設計業界にするためには ▶ 技術委員 増澤 宗

【実施日】 令和6年9月10日 (火)

【場 所】 佐久合同庁舎5階 講堂

【協 力】 長野県建設部 上田・佐久建設事務所

日本における人口減少は、様々な分野に影響を及ぼすことが想定されていますが、建設関連分野の就業人口の減少は、インフラの老朽化、激甚化する災害対応などを考えると、今後さらに大きな問題となることが予想されます。

県民の安全・安心な生活を支えるインフラを維持するには、地域の建設関連業界が持続可能な状態である必要があります。そのため、業界に従事する技術者が、双方のかかえる問題や課題などを共有することで相互理解を深め、問題・課題解決の糸口を見つけ、それぞれの立場で具体的な行動につなげていくための研修会を行いました。

研修会

1. 開催方法

ワールドカフェ方式による意見交換会

2. テーマ

- 1) 業務の効率化と品質管理
- 2) 働き方と業界の魅力

3. 参加者

佐久建設事務所 5名

上田建設事務所 6名

測量設計業協会 東信支部 支部会員 18名

〇意見交換

意見交換は、2つのテーマを細分化して意見交換しました。

1. 業務 (副題)

- ・生産性の向上 (情報共有システムの活用、技術導入、コミュニケーションの強化)
- ・品質の確保 (現場理解と段階的なチェック、過去の失敗事例を活かした品質向上策、施工業者が求める測量・設計成果の品質を知る)

2. 働き方 (副題)

- ・働きやすさ (勤務時間と働く場所の柔軟性、休暇と福利厚生の実、人員配置と業務の偏り、長時間労働の問題)

3. 今後に向けて (副題)

- ・業界のPRと情報発信
- ・先端技術のPR活用
- ・人材確保と人材育成



就労支援事業に伴う丸子修学館高等学校測量実習 ▶ 技術委員 増澤 宗

【実施日】 令和6年10月1日 (火)

【場 所】 長野県立 丸子修学館高等学校

【協 力】 長野県建設部 上田建設事務所

【参加生徒数】 工業分野 土木測量受講 2年生22名



1. 屋外学習

UAVレーザースキャナーと地上型レーザースキャナーを用いて班ごとに分かれて各機器についての概要や操作方法について説明後実際に観測体験をしてもらいました。

普段の授業では実際にふれる事の出来ない最新機器に興味津々に聞き入る学生の姿が印象的でした。



2. 室内学習

屋外学習で取得した観測データ(3次元点群データ)を、実際に図化するために必要なソフトの概要や基本的な操作方法を説明して一連の作業を体験してもらいました。

従来の機器での観測と違い、取得されるデータ量の多さに驚きながらも集中して受講していました。



長野工業専門学校測量実習支援事業（先端測量技術講習）▶技術委員 増澤 宗

【実施日】令和6年11月7日（木）

【場 所】上田市 上田城址公園

【共 催】上田建設事務所、上田市役所、土木・環境し
なの技術支援センター【参加生徒数】長野高専 工学科都市デザイン系 3年生
45名

土木工学を学ぶ学生たちが、現場での測量や調査などの専門技術を学び、将来の職業を考える機会を共同事業として実施しました。

はじめに歴史解説として上田市教育委員会 生涯学習・文化財課の谷口弘毅さんより「上田城の地形的な特徴・上田電鉄の歴史」について講義をしていただいたからの作業となりました。

充実した実習となるように当支部としては事前準備として基準点設置などを行い、授業中には観測作業におけるアドバイスや技術指導・3D計測機器等によるデモ観測を行いました。

〈支援事業概要〉

1. 土木構造物等の形状を現地で測量して確認する。（現地測量実習）
2. 測量に基づく図面、成果を作成し、形状などから施設などの特徴や役割を学ぶ。
3. 施設の機能などについて、教室での学習を行うとともに調査報告書を作成し、地域への説明などの活動に使用する。



上田城址公園内にある（二の丸橋、二の丸堀、陸上競技場、市営球場、櫓下階段付近、櫓下崩壊地）各施設ごとに班に分かれて目的に応じた測量を実施しました。

測量授業



中信支部活動

中信支部長 太田 清寿

南安曇農業高等学校 測量設計実習 ▶ 総務広報委員 谷本 直樹

令和6年6月21日、7月5日、12日の3日間にわたり、南安曇農業高等学校で3年生を対象とした授業の一環として測量設計の実習を行いました。

講習内容：①TS地形測量、縦横断測量実習

②測量ソフトによる座標計算、CADを用いた測量図作成

③CADを用いた歩道設計実習（平面図、縦断図、標準横断図）

・南安曇農業高等学校 地形測量および交流広場設計講習会

～「建設技術実践プロジェクト事業」

（旧「自分たちでつくろうプロジェクト」）～



TS測量野外実習



測量ソフトによる室内実習

南安曇農業高等学校 測量講習会 ▶ 総務広報委員 谷本 直樹

令和6年9月12日に南安曇農業高等学校講習会南安曇農業高校環境クリエイト科2年生の生徒26名を対象に測量講習会を行いました。

この講習会は測量実務に関する室内講義と現場実習を通じ、測量の実務内容や最新測量機器の取り扱い方法等を習得してもらうことを目的として開催しています。

今回は21名の中信支部会員が講師となり、GNSS測量や路線測量、平板測量などの技術指導の他、ドローンのデモフライトなども実施しました。

今回の経験を通じて、将来の進路を決める時の選択肢のひとつになるように、次世代を担う測量技術者がこの生徒の中から多く育ってくれることを願います。

多くの協力者のお陰で無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。



平板測量実習



GNSS測量室内講習 (鵬会館)



ドローンデモフライト



路線測量実習



GNSS測量屋外講習

木曽青峰高等学校 測量講習会 ▶総務広報委員 谷本 直樹

令和6年10月16日に長野県木曽青峰高等学校で森林環境科2年生の生徒14名を対象に測量講習会を行いました。

この講習会は地域に根ざし、地域の暮らしを守る建設業の将来を担う若手技術者を育成し、建設業への就労を促進するため、官民協働で、県内の建設系学科高校生を対象とした研修の一環として開催しています。

中信支部会員8名が講師となり、GNSS測量や地上レ

ーザースキャナーを用いた測量などの技術指導の他、ドローンのデモフライトなども実施しました。

今回の経験を通じて、将来の進路を決める時の選択肢のひとつになるように、次世代を担う測量技術者がこの生徒の中から多く育ってくれることを願います。

多くの協力者のお陰で無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。



室内講習



ドローンデモフライト



GNSS測量屋外講習



ドローンデモフライト

南信支部活動

南信支部長 松村 忠次

飯田OIDE長姫高校建設実践プロジェクト ▶ 支部長 松村 忠次

【実施日】 令和6年6月7日 (金)

【場 所】 飯田OIDE長姫高校

【活動内容】

今年も飯田OIDE長姫高等学校 社会基盤工学科3年生を対象に実施しました。

この実践PJは平成29年度から今年度で8年目となります。PJ内容は最初の全体計画から始まり、現在ではラン

ニングロードを施工しています。今年度は階段部分の測量（地上型のスキャナーを使用しての地形とセンター縦横断）とランニングロード15m分の施工を行いました。3年生が9名と少なく作業がなかなか進まないということもありましたが、先生や建設業協会の協力もあり無事に終わることができました。



飯田OIDE長姫高校測量実習 ▶ 支部長 松村 忠次

【実施日】 令和6年6月25日 (火)

【場 所】 飯田OIDE長姫高校

【活動内容】

今年も飯田OIDE長姫高等学校 社会基盤工学科の3年生を対象に測量実習を実施しました。飯田地区の協会員企業に多くのOBが在籍する飯田OIDE長姫高校の測量実習は、当初OBが後輩のために実習に協力する形で始まりました。現在は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部飯田地区の会員企業が実習に協力しています。

生徒はGNSSを用いた衛星測位システムの体験や、UAV

を用いた空中からのレーザー測量を体験して、測量業界に興味津々といった感じでした。来年度も多くの生徒が、若手職員として飯田OIDE長姫高校から飯田地区の各社に入社してくれることを期待します。



就労支援事業に伴う富士見高等学校測量実習 ▶ 副支部長 名取 洋史

【実施日】 令和6年7月3日 (水)

【場 所】 富士見高等学校

【参加生徒数】 園芸科 3年生9名

例年と同じく富士見高校園芸科3年生を対象に測量実習を実施しました。

- 【実習内容】 ①トータルステーションを用いた面積測量 (屋外実習)
②UAV測量と点群データについて (座学)
③写真測量の立体視の体験 (座学)



事前の授業で、いつも使用しているフォークリフトのコースを平板測量による三斜法により求積し、実習では同じポイントをトータルステーション (TS) で観測し面積を比較しました。生徒は、平板測量と比べTS測量の方が手軽に測量できると話していました。また、写真測量の立体視の体験では「立体には見えない」と言いながら楽しそうに何回もチャレンジしていました。



南信支部経営者研修会 ▶ 副支部長 森脇 慎一郎

【実施日】 令和6年10月2日・3日 (水・木)

【場 所】 北陸地方

令和6年の元日に発生した能登半島地震災害は、復興作業が行われている最中に、追い打ちをかけるようにさらに9月に同地区を豪雨災害が襲いました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

被災地には南信地区からも支援業務として多数の協会員が現在も現地入りしています。

今回の視察では、甚大な被災を受けた能登半島への現

地入りを控え、比較的被害が軽微と思われる地区を視察する研修会としました。

軽微であったとはいえ現地の方との直接のやり取りする中からは、改めて震災の脅威を感じる研修となりました。研修中には支援業務における課題や、支部や協会として対応すべき問題について情報交換ができました。この研修後に災害の対応箇所がさらに追加されたこともあり、今回の研修は今後も続く災害支援に対して有意義なものとなりました。

飯田市立追手町小学校出前講座 ▶ 支部長 松村 忠次

【実施日】 令和6年10月21日 (月)

【場 所】 飯田市立追手町小学校

【活動内容】

測量の日記念事業として、算数で学ぶ「図形の拡大、縮小」を実社会ではどのように活用しているのかの体験学習をしました。これにより測量業の一端を児童に理解してもらい、将来の職業に測量業が選択肢の一つとなることができるよう努めました。

教室で図形の拡大と縮小をグラフ用紙で実習した児童たちは、校庭に移動し、測量の器械を使って図形を拡大する体験をしました。当日は晴天に恵まれ、校庭には児童が考えた図形を描きました。最初はなかなかうまくいきませんでしたが、途中からはスピードがアップし、どの班も元の図の5倍になっている図形を描けたことを確認しました。



若手技術者意見交換会（諏訪建設事務所）▶ 副支部長 名取 洋史

【実施日】 令和6年11月6日 (水)

【場 所】 ライフプラザ・マリオ

当該事業は、測量・設計業務の技術パートナーとして諏訪建設事務所建設部若手職員と（一社）長野県測量設計業協会会員の若手技術者が業務上の問題点を抽出し話し合うことにより、解決策を模索する企画として行っています。

今年度は岡谷市のライフプラザ・マリオにて開催しました。諏訪建設事務所から9名、（一社）長野県測量設計業

協会南信支部から31名が参加しました。

まず、座学では、協会員が「用地測量の流れ等」の説明を行い、その後3グループに分かれ意見交換会を行いました。

意見交換は、「災害復旧における留意事項・疑問点」、「通常業務における留意事項・疑問点」、「今後、魅力ある測量・設計業協会にするには」の3つを議題としました。

各グループでは、与えられた議題の問題点を話し合い、その後発表を行いました。

諏訪建設事務所整備課 内藤課長補佐は、「1つずつの問題点において色々な意見がありおもしろい。今日は大変

勉強になった。今後も継続することによりスムーズに業務遂行できるようにしてほしい。」との総評をいただきました。



下伊那土木振興会「砂防講演会」共催開催 ▶ 支部長 松村 忠次

【実施日】 令和6年11月22日(金)

【場 所】 飯田市シルクホテル

【活動内容】

下伊那土木振興会では毎年初秋に、「道路」と「砂防」の後援会を交互に開催しています。今年は「砂防講演会」でした。この事業は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部も後援している事業であり、会員企業からは約40名の出席がありました。

南信地域には、防災事業に関係する多くの企業がありますので、今年は砂防事業に関係する皆様を対象に、砂防に携わる専門分野の講師をお迎えし、これからの土砂災害に対する防災意識の向上と、災害に強い地域づくり

の推進に繋げることを目的として、次の演題で講演いただきました。参加者にとっては、防災知識の向上を図る良い機会となりました。

【講演内容】

(1)『「いのち」と「暮らし」と「みどり」を守る砂防』

講師 国土交通省 水管理・国土保全局
砂防部長 草野 慎一 氏

(2)『近年の土砂災害から学ぶ』

講師 一般社団法人 全国治水砂防協会
理事長 大野 宏之 氏

(3)『過去の災害に学ぶ』

講師 長野県建設部 砂防課長 吉村 元吾 氏

上伊那農業高校測量実習 ▶ 支部長 松村 忠次

【実施日】 令和6年12月5日(木)

【場 所】 上伊那農業高等学校

【活動内容】

当実習は、長野県建設産業担い手確保・育成 地域連携ネットワークとして産官学による「建設産業に係る就業促進・働き方改革に資する19の取組」の一つである「建設技術実践プロジェクト」事業として実施しています。今回の上伊那農業高校での講座は、建設系高校生の就労

促進の取組みとして、当協会員が担当する調査・測量・設計部門の中の測量技術講習を行いました。講習内容は、測量・設計業務の概要、最新測量機器の説明と取り扱い方を中心に講義を行い、建設系高校生の測量設計業への理解と興味を引き付け、就労拡大に結び付けることを目的としています。

午前中は、座学で測量設計業という仕事はどんな仕事なのかについて概略説明を行い、水準測量の計算実習や

各観測に使用する三角関数の演習を行いました。その後、レベルやトータルステーションの取り扱い方について、協会の講師から説明を受けて実習作業に入りました。実習では、現測量技術のトレンドであるトータルステーションによる多角測量、デジタルレベルによる水準測量、VRS-RTKによるGNSS観測、地上型レーザースキャナーの観

測を何れも最新機器用いて行いました。その後UAVを飛行させ、一連の飛行状況の見学と希望者による実機の操縦を行ってもらいました。実際にUAVの操作をしてみた女子生徒は「全然知らない世界だったのにむっちゃ興味わきました。面白そうな仕事だと感じました。」と興奮気味に答えていました。



南信地区の長野県4建設事務所との意見交換会 ▶ 副支部長 馬場 規生

【実施日】 令和6年12月12日 (木)

【場 所】 伊那市 北野屋

【参加者】 諏訪建設事務所、伊那建設事務所、飯田建設事務所、下伊那南部建設事務所の各所長、整備課長

【活動内容】

南信支部恒例の南信4事務所の所長・整備課長をお招きして各事務所の事業内容の説明と、業務に関する問題点を議論する意見交換会を開催しました。

【検討議題】

- ・ 総合評価の業務成績点の上限値について
- ・ 3D測量・設計業務の積極的な発注

等12項目につきまして意見や要望を議論しました。

総合評価方式の業務成績については、令和6年度より80点から84点へと引き上げられたことに関して、多くの会員から見直しを求める要望と合わせ、各建設事務所長から県の担当部局へ声を上げて欲しいとする切実な意見が出されました。

会議後の懇親会でも充実した会話ができ、有意義な意見交換会になりました。



協会・委員会活動

第55回通常総会 総務広報委員会

第55回通常総会は、令和6年5月16日（木）、14時15分から、ホテル国際21 藤の間において開催しました。出席会員数（委任状による者を含む）は、69名（議決権の

総数69個）で、定款の規定により、必要な出席数に達したので総会は成立した旨の佐藤議長の宣言により、議事に入りました。



佐藤議長（前会長）



吉竹新会長



萩原顧問（長野県議会議員）



小田川長野国道事務所長



浅見千曲川河川事務所長



大森天竜川上流河川事務所副所長



新田長野県建設部長

議事は、

1. 令和5年度事業及び収支決算報告並びに貸借対照表、正味財産増減額計算表の承認及び監査報告に関する件（第1号議案）
2. 令和6年度事業計画及び収支予算報告に関する件（第2号議案）
3. 令和6年度会費賦課金、入会金及び役員報酬の承認に関する件（第3号議案）

の3議案で、第1号及び3号議案を承認可決いただき、第2号議案は報告を行いました。

4. 理事の任期満了に伴う改選に関する件（第4号議案）

第4号議案については、一任を受けた議長から理事及び監事が指名され、全会一致で新理事及び監事が選任されました。

懇親会

総会後の懇親会も国の機関や長野県より来賓をお招きし、和やかに開催されました。



測量士・測量士補受験事前講習会 技術委員会

1. 飯田会場

実施日：令和6年3月16日（土）・17日（日）

場 所：飯田市飯田文化会館

参加者：協会員測量士26名、同士補13名 計39名

2. 長野会場

実施日：令和6年3月30日（土）・31日（日）

場 所：長野市若里市民文化ホール

参加者：協会員測量士39名、同士補13名
（うち高校生2名）計52名

講師は今年も東海工業専門学校金山校の成田先生と宮口先生にお越しいただき、過去問題を中心に準則に基づいた受験対策講座を実施しました。校生の就労促進事業として、測量士補の講習には、長野工業高校の生徒は日程が合わず参加はありませんでしたが、OIDE長姫高校の2名が参加しました。

地理空間情報専門技術講習会及び同認定試験（写真測量A課程） 技術委員会

I コース

実施日：令和6年5月27日（月）～ 31日（金）

場 所：松本市 松本商工会議所

参加者：17名

II コース

実施日：令和6年9月9日（月）～ 13日（金）

場 所：松本市 JAハイランド松本市民会館

参加者：13名

III コース

実施日：令和6年11月11日（月）～ 15日（金）

場 所：松本市 JAハイランド松本市民会館

参加者：8名

昨年は写真測量B課程の講習及び認定試験でしたが、今年は上位資格のA課程講習が、延べ3回、3週間の日程で行われました。講習会の実施方法も目を見張る進化で、同時開催のサテライト会場である（公社）日本測量協会研修室から講師の講義を松本会場へWeb同時配信で実施されました。より高度な講習内容で試験問題も難問でしたが、その姿は「全員合格」といえるような真剣な面持ちで良い結果が出ると感じました。



災害復旧事業技術者講習会 技術委員会

実施日：令和6年6月28日（金）

場 所：ザ・ハーモニーホール（松本市音楽文化ホール）
メインホール

参加者：（一社）長野県測量設計業協会会員369名、建
コン2名、補償コン8名、一般22名 計401名



講習会全景



吉竹会長あいさつ

演題及び講師：

1. 河川工事における治水上の安全確保の考え方について及び公共土木施設災害復旧に係る設計上の留意点について：講師 建設部河川課 治水係 中村 昌貴 様、同 災害係 木村 直人 様
2. 農地・農業用施設災害復旧事業について：講師 農政部農地整備課 防災担当 山田 淳一 様
3. 自然災害への対応について：講師 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 課長補佐 山崎 敦広 様
4. ドローン免許制度について：講師 セキド新潟上越株式会社フォト・オフィスオーツー ドローン事業部 滝澤 大輝 様（賛助会員）
5. 災害復旧の設計業務における最近の動向について：講師 株式会社 高見澤コンクリート事業部 矢口 滋正 様（賛助会員）
6. 防災・減災における「LiDAR SLAM技術」を活用した計測について：講師 株式会社 いとうシステム事業

- 部 横山 公一郎 様（賛助会員）
7. （一社）長野県測量設計業協会会員様向け損保ジャパン集団扱のご案内：講師 株式会社 ちとせ保険事務所 塚川 朋代 様（賛助会員）

昨年に続き総勢400名を超える参加となりました。

今年度は、マンネリ化を避けるため講習内容も変え、能登半島地震の被害状況や今後予想される南海トラフ地震への対応等の大規模災害への国の対応について国土交通省防災課より講師を招き講義を受けました。また、地形測量のUAV 3D計測業務に必要となるドローン免許制度について、新たに賛助会員となった社より解説を受けました。昨年に続き、賛助会員の中から災害復旧に関わりある社に依頼して講演を受ける取組や、今後災害復旧現場で活用が想定されるコンクリート製品や最新のテクノロジーを搭載した測量機器の展示ブースも設ける等の工夫も行い実施されました。



展示ブース



展示ブース

災害復旧事業技術者講習会 技術委員会

長野県では、「災害対策基本法、長野県地域防災計画及び小諸市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が相互に連携して各種の防災訓練を総合的に実施し、災害時に即応できる体制を確立するとともに、広く防災意識の普及高揚を図るため、令和6年能登半島地震に関する教訓等を積極的に訓練に取り入れ、地域防災力の向上に資する。」を目的に、令和6年10月20日に小諸市南城公園をメイン会場として長野県総合防災訓練を実施しました。

近年、毎年のように全国で大規模な災害が発生しており、その際、人が行けないような災害現場でもドローンならいち早く災害状況が調査でき、その後の復旧作業のための素早い測量も可能になりました。当協会の会員のほとんどがこのドローンを所有し、災害発生時の状況調査や3次元測量に対応していることから、今後いつ起こるか分からない災害時の緊急調査を見据え、昨年度に県が毎年実施している「長野県総合防災訓練」への参加ができるように働きかけ、今年度から防災訓練に参加することになりました。

訓練は、「秋雨前線が停滞し、この1週間で、小諸・佐久地方には例年10月の平均降水量を超える雨が降った影響で、千曲川の増水、小諸市街地の中央を南北に流れる中沢川の鉄砲水、その他の中小河川沿いに土砂災害が発生」との想定で行われました。当協会は、ドローンによる被害状況調査訓練として、被災現場に見立てた乙女湖公園、小諸総合体育館及び小諸高原病院から南城公園の合同調整本部へ映像を送り、そこから県庁災害対策本部室ヘリアルタイムで被災現場の映像伝送を行いました。

天候等により思うような訓練実施ができなかったことは残念ですが、問題点等含め次回に繋がる成果は得られたかと思います。来年は南信（岡谷市）の開催となります。

なお、訓練の詳細は、長野県のホームページをご覧ください。



合同調整本部（南城公園）



ドローン飛行状況（小諸高原病院）



映像伝送（乙女湖公園）

会 員 名 簿

支部	会員名（代表者名）	所在地	電話番号／FAX E-mail
北信支部 (17社)	(株)伊藤測量設計 伊藤 裕 (副支部長)	〒380-0928 長野市若里3丁目10-10	TEL.026 (254) 7154 FAX.026 (254) 7169 ito-suv@vmail.plala.or.jp
	(株)内田測量 内田 哲郎	〒388-8004 長野市篠ノ井会13-3	TEL.026 (292) 0539 FAX.026 (292) 8181 uchida.s@vesta.ocn.ne.jp
	(有)エヌ・テック 中沢 清光	〒381-0006 長野市富竹113	TEL.026 (217) 2957 FAX.026 (266) 0827 ntec@coral.ocn.ne.jp
	環境都市設計(株) 岡田 すが子 (伴野 節男 理事兼支部長兼危機管理委員長)	〒380-0803 長野市大字三輪1324-11 TM三輪ビル	TEL.026 (238) 2368 FAX.026 (238) 2369 eud@eud.co.jp
	(株)共栄測量設計社 松林 直人	〒381-0012 長野市大字柳原344-3	TEL.026 (243) 5549 FAX.026 (243) 5965 info@kyoei-sv.net
	(株)協同測量社 吉田 敬一 (総務広報副委員長)	〒380-8577 長野市安茂里671	TEL.026 (226) 5691 FAX.026 (228) 8858 KYODO@kyo-soku.co.jp
	黒田整地開発(株) 黒田 博	〒381-0012 長野市柳原1494-7	TEL.026 (217) 2776 FAX.026 (252) 5228 h-hilow10@silc.plala.or.jp
	国土監理(株) 安藤 達也 (副会長)	長〒381-0025 野市大字北長池1756-1	TEL.026 (263) 0656 FAX.026 (263) 1390 kokudost@k-kanri.co.jp
	(株)国土設計 高野 浩一 (駒村 信夫 監事)	〒380-0912 長野市稲葉日詰沖1783-1	TEL.026 (221) 4330 FAX.026 (221) 8991 kokudo-s@kokudo-s.co.jp
	(株)サン環境計画 武田 和幸 (危機管理委員)	〒380-0921 長野市大字栗田653-53	TEL.026 (217) 4220 FAX.026 (217) 4228 info@sunkankyo.co.jp
	三共技研(株) 村澤 修二	〒381-0043 長野市吉田2-4-37	TEL.026 (243) 8822 FAX.026 (243) 0329 info@sankyo-gk.jp
	(有)須高測量 上原 康夫	〒382-0025 須坂市大字豊丘4-2	TEL.026 (248) 1241 FAX.026 (248) 8735 s_survey@avis.ne.jp
	(有)測地 島田 正敏	〒387-0001 千曲市大字雨宮1516-2	TEL.026 (272) 6577 FAX.026 (272) 5585 sokuchi@alto.ocn.ne.jp
	(株)中央測量 浦野 泉 (技術委員)	〒389-2253 飯山市飯山1108	TEL.0269 (62) 4177 FAX.0269 (62) 2261 i-urano@chuo-survey.com
	長野技研コンサルタント(株) 臼田 裕一 (副支部長)	〒381-2204 長野市真島町真島1292	TEL.026 (283) 2304 FAX.026 (283) 2305 ngckk@avis.ne.jp
	(有)中村測量設計事務所 中村 利通	〒380-0943 長野市大字安茂里1823	TEL.026 (226) 7033 FAX.026 (226) 8033 naka-s-n@mx1.avis.ne.jp
	(有)山本測量 山本 洋輔	〒381-2405 長野市信州新町新町1377	TEL.026 (262) 2831 FAX.026 (262) 2853 yosuke@yamasoku.com
東信支部 (12社)	(株)アクロス 市川 友一	〒385-0052 佐久市原138-12	TEL.0267 (64) 8550 FAX.0267 (64) 8551 across@cpost.plala.or.jp
	(株)浅間エンジニアリング 小間沢 晃 (副支部長)	〒385-0051 佐久市大字中込3764-1	TEL.0267 (62) 8261 FAX.0267 (62) 1822 asama-eg@sas.janis.or.jp
	(有)イー・ティー・シー企画 畠山 美可	〒384-0304 佐久市北川1525-11	TEL.0267 (82) 6698 FAX.0267 (82) 6761 etc@rose.ocn.ne.jp
	(株)総和コンサル 清水 祐一 (総務広報委員)	〒385-0016 佐久市大字鳴瀬1131-1	TEL.0267 (68) 4788 FAX.0267 (68) 5133 souwa@lily.ocn.ne.jp
	(有)タイム社 福島 敬和 (副支部長)	〒385-0011 佐久市猿久保127-6	TEL.0267 (66) 0039 FAX.0267 (66) 0029 info@time-inc.jp
	(株)タイヨーエンジニア 佐藤 芳明 (理事兼相談役)	〒389-0512 東御市滋野乙1302	TEL.0268 (62) 1700 FAX.0268 (62) 2721 sato@taiyoeng.co.jp
	日測設計(株) 山本 元栄 (理事兼支部長兼技術委員長)	〒384-0016 小諸市八幡町1-4-16	TEL.0267 (23) 6001 FAX.0267 (25) 5842 yamamoto@nissoku.com
	(株)フジ技研 井出 一彦	〒386-0002 上田市住吉104-1	TEL.0268 (25) 1047 FAX.0268 (25) 5563 fujigkn@fignetwork.co.jp
	(株)みずず総合コンサルタント 増澤 宗 (技術委員)	〒386-1102 上田市上田原1073-4	TEL.0268 (24) 8230 FAX.0268 (24) 8353 msc06@e-misuzu.com
	(株)モテキ 小池 文人	〒385-0051 佐久市大字中込3421-50	TEL.0267 (62) 7701 FAX.0267 (62) 6459 info@k-moteki.com
	(株)ユーアール測量設計 川上 陽次郎	〒384-0027 小諸市六供1-3-17	TEL.0267 (22) 8841 FAX.0267 (22) 2856 ur-sv@ctknet.ne.jp
	(有)ワイエムテック 木内 政彦 (危機管理委員)	〒385-0061 佐久市伴野1639-21	TEL.0267 (63) 1528 FAX.0267 (63) 1539 ymtec@abelia.ocn.ne.jp
中信支部	(株)アスカエンジニア 下條 広行	〒397-0001 木曽郡木曽町福島2637-1	TEL.0264 (23) 2695 FAX.0264 (24) 2695 asukae@plum.ocn.ne.jp
	(株)アズミエンジニア 吉竹 行仁 (会長)	〒398-0002 大町市大町3276-1	TEL.0261 (22) 4575 FAX.0261 (22) 0698 info@aen.co.jp
	(株)あづみ野開発コンサル 赤羽 明彦	〒399-8205 安曇野市豊科2568-1	TEL.0263 (72) 7217 FAX.0263 (73) 0501 info@akonsul.com
	(株)アンドー 坪井 利幸 (副支部長)	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263 (48) 0480 FAX.0263 (48) 0009 andoh@kkandoh.co.jp
	(株)奥原調査設計 奥原 広明	〒397-0002 木曽郡木曽町新開2662-1	TEL.0264 (23) 2433 FAX.0264 (24) 2780 kokuhara@fancy.ocn.ne.jp
	(有)金井測量設計事務所 金井 治夫 (副支部長)	〒399-7402 松本市会田706-1	TEL.0263 (64) 2073 FAX.0263 (64) 4079 kanaissj@dh.mbn.or.jp
	(株)けいかく 太田 大三	〒390-0316 松本市原84-2	TEL.0263 (46) 5225 FAX.0263 (46) 5154 kei@po.mcci.or.jp
	(株)山光測舎 白澤 一清	〒398-0003 大町市社6268-1	TEL.0261 (22) 9851 FAX.0261 (23) 3577 sanko@lily.ocn.ne.jp
	大成測量設計(株) 下里 守 (太田 清寿 理事兼支部長)	〒399-8301 安曇野市穂高7602-3	TEL.0263 (50) 8601 FAX.0263 (50) 8602 v-taisei@mx2.avis.ne.jp

支部	会員名（代表者名）	所在地	電話番号／FAX E-mail
17社	(株)中央工研 矢ヶ崎 恒夫	〒390-0852 松本市大字島立978-1	TEL.0263 (47) 8631 FAX.0263 (47) 8632 kikaku@ccer.co.jp
	中部測量(株) 上水 茂子 (技術副委員長)	〒390-1701 松本市梓川俣3085-1	TEL.0263 (78) 5522 FAX.0263 (78) 5533 chubu-ar@mx1.avis.ne.jp
	(株)中部日本測量社 蒲生 三智子	〒390-0221 松本市大字里山辺1823-4	TEL.0263 (32) 7320 FAX.0263 (32) 7229 kk.tns@vega.ocn.ne.jp
	(株)長野技研 中嶋 孝満 (寺澤 慶一 危機管理副委員長)	〒390-1241 松本市大字新村2326	TEL.0263 (47) 7677 FAX.0263 (47) 6503 soumu@naganogiken.co.jp
	(株)日研コンサル 谷本 直樹 (総務広報委員)	〒390-0841 松本市渚2-5-6	TEL.0263 (26) 6470 FAX.0263 (27) 2614 info@nikkenc.co.jp
	深志測量(株) 横山 敏雪	〒390-0852 松本市大字島立1080-7	TEL.0263 (47) 6501 FAX.0263 (47) 4742 soumu@fukashi-survey.jp
	(株)マイクロ 後澤 伸之	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263 (48) 0339 FAX.0263 (48) 0439 gozawa@kkmicro.co.jp
	(株)ミズホエンジニア 中村 功	〒399-8304 安曇野市穂高柏原1019-1	TEL.0263 (82) 8458 FAX.0263 (82) 4186 mizuho-eng@mzh-eng.co.jp
南信支部 (24社)	(株)アルプス 名取 洋史 (副支部長)	〒394-0031 岡谷市田中町1-4-26	TEL.0266 (22) 5514 FAX.0266 (22) 5524 alps@cocoa.plala.or.jp
	(株)飯田コンサルタント 下平 勝史	〒395-0822 飯田市松尾寺所7343	TEL.0265 (22) 0100 FAX.0265 (22) 0541 daihyo@iicon.co.jp
	(有)井戸測量 大平 俊家	〒395-0004 飯田市上郷黒田5843	TEL.0265 (23) 5793 FAX.0265 (22) 4555 idosokuryou@sunny.ocn.ne.jp
	(株)伊那測量 守屋 美喜男	〒396-0022 伊那市御園1298-2	TEL.0265 (72) 3966 FAX.0265 (72) 4105 i7so9@rose.ocn.ne.jp
	栄和測量(株) 矢澤 久実	〒395-0801 飯田市鼎中平2887-1	TEL.0265 (24) 1079 FAX.0265 (24) 1078 eiwa1@crocus.ocn.ne.jp
	(株)長姫 森脇 慎一郎 (副支部長)	〒395-0154 飯田市下殿岡206	TEL.0265 (25) 8855 FAX.0265 (25) 8860 soumu@kc-osahime.co.jp
	長姫調査設計(株) 藤澤 亘	〒395-0071 飯田市今宮町4-20	TEL.0265 (23) 3666 FAX.0265 (23) 3680 o-c-s@giga.ocn.ne.jp
	技建開発(株) 武井 清彦	〒395-0151 飯田市北方1313-2	TEL.0265 (22) 9585 FAX.0265 (22) 8320 eigyobu@gkc.co.jp
	(株)北国コンサル 北原 正人 (総務広報委員)	〒399-4431 伊那市西春近9099	TEL.0265 (72) 6458 FAX.0265 (72) 6499 rep@kitakuni.co.jp
	(株)北測 北原 勝美	〒399-4431 伊那市西春近下島2875-3	TEL.0265 (72) 3704 FAX.0265 (72) 3746 kitasoku@cocoa.ocn.ne.jp
	(株)協同コンサル 中村 知貴	〒393-0047 諏訪郡下諏訪町西赤砂4348-9	TEL.0266 (27) 7111 FAX.0266 (27) 7138 mail@kyoucon.co.jp
	(株)計測エンジニアリング 関 稔	〒399-2565 飯田市桐林1737-3	TEL.0265 (26) 3012 FAX.0265 (26) 8831 info@keisokueng.jp
	(株)コバコン 小林 佳人	〒399-2431 飯田市川路7527	TEL.0265 (27) 5250 FAX.0265 (27) 5220 kobayashi@kobacon.co.jp
	(株)ジッソク 溝口 豊	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1378-2	TEL.0265 (82) 2328 FAX.0265 (82) 5052 mizoguchi@jissoku.jp
	(株)ゼンシン 境澤 昌志 (技術委員)	〒399-4115 駒ヶ根市上穂栄町13-7	TEL.0265 (83) 4865 FAX.0265 (83) 9728 tanaka@k-zensin.co.jp
	(株)中部測地研究所 藤森 雄一	〒392-0131 諏訪市湖南801-1	TEL.0266 (58) 0304 FAX.0266 (58) 9515 info@chubusokuchi-lab.co.jp
	(株)藤測 松村 忠次 (理事兼支部長)	〒395-0806 飯田市鼎上山4040-1	TEL.0265 (23) 1522 FAX.0265 (23) 4810 t.sk@tohsoku.co.jp
	(株)ナカタ 唐木 暢彦	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂16705-9	TEL.0265 (85) 4517 FAX.0265 (85) 4518 contact@nakatass.com
	馬場測量設計(株) 馬場 規生 (副支部長)	〒396-0014 伊那市狐島4012	TEL.0265 (78) 8111 FAX.0265 (78) 8112 babasoku@inacatv.ne.jp
	(有)吉川測量設計事務所 廣瀬 大介 (危機管理委員)	〒395-0046 飯田市扇町17	TEL.0265 (53) 4808 FAX.0265 (53) 4809 ykss@tbz.t-com.ne.jp
	(株)理財 佐々木 宣久	〒396-0012 伊那市上新田2557-1	TEL.0265 (72) 1126 FAX.0265 (78) 0434 rizai@aurora.ocn.ne.jp
	(株)緑地計画 福澤 浩	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂14616-67	TEL.0265 (83) 7744 FAX.0265 (83) 7745 info@land-lab.co.jp
	(株)嶺水 小山 忠孝 (副会長兼総務広報委員長)	〒395-0003 飯田市上郷別府182-1	TEL.0265 (23) 3000 FAX.0265 (22) 6546 gis@reisui.co.jp
	(株)ワイド 春日 利敬	〒396-0026 伊那市西町5845-1	TEL.0265 (78) 7533 FAX.0265 (78) 6742 wide@cc-wide.co.jp
賛助会員 (7社)	(株)いとう 高村 和則	〒381-0024 長野市南長池498-1	TEL.026 (221) 4101 FAX.026 (221) 5313 webmaster@itoh.co.jp
	カシヨ(株) 奥山 哲	〒381-0037 長野市西和田1-27-9	TEL.026 (251) 0510 FAX.026 (251) 0500 kashiyo@kashiyo.co.jp
	(株)シー・ティー・エス 横島 泰蔵	〒386-0005 上田市古里115	TEL.0268 (26) 3700 FAX.0268 (26) 2102 kurumi@cts-h.co.jp
	(有)プラス・ワン 西山 求男	〒381-2233 長野市川中島町上氷鉋1574-1	TEL.026 (284) 7442 FAX.026 (284) 7461 info@plus1-n.com
	(株)ちとせ保険事務所 小澤 洋二	〒380-0921 長野市栗田182-1 MKビル2F-C	TEL.026 (224) 1585 FAX.026 (224) 1610 info@chitose-hoken.com
	(株)高見澤 高見澤 秀茂	〒380-0813 長野市緑町1605-14	TEL.026 (228) 0111 FAX.026 (227) 8046 concrete-honbu@kk-takamisawa.co.jp
	(株)フォト・オフィス オーソー(セキド新潟上越) 大坪 幸信	〒943-0171 新潟県上越市藤野新田336-1	TEL.025 (530) 7718 FAX.025 (530) 8800 info_ngj@sekidopartners.com

編集後記

令和6年元旦にマグニチュード7.6の能登半島地震が発生しました。また9月には奥能登で豪雨災害が発生しました。度重なる大災害に被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日でも早く復興がなされることをご祈念申し上げます。

石川県測量設計業協会からの要請を受けて、当協会会員も約30社が災害復旧業務にあたっています。宿泊施設や食事などまだまだ不便が多い遠方の被災地で測量設計業務を行っている会員企業の皆様にはただ頭が下がる思いがします。早期復興のため、引き続きご尽力ください。

本年度、当協会は役員改選があり、吉竹新会長が選任されて新体制がスタートしました。経営環境改善や担い手の確保など、課題はたくさんありますが、新体制のもとでしっかり取り組んで参りたいと思います。関係各所の皆様方のご指導、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

総務広報委員長 小山 忠孝

一般社団法人 長野県測量設計業協会

〒380-0838 長野市南長野県町484-1 (センターボア702)
TEL.026-233-5078 FAX.026-233-5089
<http://chosokkyo.planet.bindcloud.jp>
E-mail : chosokyo@seagreen.ocn.ne.jp

